

林 幸司 (はやし こうじ)

2010 年度 COE 研究員

連絡先 lin@ier.hit-u.ac.jp

専攻分野：中国社会経済史

研究テーマ：近代中国銀行史、商業史、農村経済史

博士学位請求論文題目：『中国内陸部における金融業の史的展開——銀行業に見る近代と社会主義：1915～1953』

学歴

1998 年 3 月 立命館大学文学部史学科（東洋史学専攻）卒業

2001 年 3 月 一橋大学大学院社会学研究科修士課程（地域社会研究専攻）修了、社会学修士

2006 年 3 月 一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程（総合社会科学専攻）修了、社会学博士

職歴

2006 年 4 月 東京学芸大学教育学部非常勤講師（担当：アジアの民族と国家、～2006 年 9 月）

2006 年 6 月 亜細亜大学国際関係学部非常勤講師（担当：中国語、～2006 年 9 月）

2006 年 10 月 一橋大学大学院社会学研究科特別研修生（～2007 年 3 月）

2007 年 4 月 亜細亜大学国際関係学部非常勤講師（担当：中国語、現在に至る）

2007 年 4 月 放送大学教養学部非常勤講師（担当：中国の国家統合と社会変化、～2008 年 1 月）

2007 年 10 月 成城大学経済学部非常勤講師（担当：東洋経済史、～2008 年 3 月）

2008 年 4 月 日本大学文理学部非常勤講師（担当：東洋史特講、～2009 年 3 月）

2008 年 10 月 成城大学経済学部非常勤講師（担当：東洋経済史、～2009 年 3 月）

2008 年 10 月 東京学芸大学教育学部非常勤講師（担当：アジア研究、～2009 年 3 月）

2008 年 10 月 放送大学教養学部非常勤講師（担当：中国の国家統合と社会変化、～2009 年 1 月）

2008 年 10 月 一橋大学グローバル COE「社会科学の高度統計・実証分析拠点構築」COE 研究員
（現在に至る）

2009 年 4 月 日本大学文理学部非常勤講師（担当：東洋史特講・東洋史基礎実習、～2010 年 3 月）

2009 年 10 月 成城大学経済学部非常勤講師（担当：東洋経済史、現在に至る）

2010 年 2 月 台湾中央研究院近代史研究所訪問学人（～2010 年 3 月）

2010 年 4 月 日本大学文理学部非常勤講師（担当：東洋史特講、現在に至る）

2010 年 10 月 千葉大学法経学部非常勤講師（担当：外国語文献購読、予定）

研究業績

・著書

林 幸司 (2009) 『近代中国と銀行の誕生——金融恐慌、日中戦争、そして社会主義へ』 御茶の水

書房、viii+248頁【第4回樫山純三賞受賞】

・論文

- 林 幸司 (2002) 「建国初期中国共産党による都市『接管』工作について——重慶市を中心に——」『中国研究月報』649号、pp.1-15 [査読有り]
- 林 幸司 (2003) 「『解放』後の重慶における私営企業の接收過程——楊家、聚興誠銀行、中国共産党——」『アジア経済』第44巻12号、pp.1-27 [査読有り]
- 林 幸司 (2004) 「中国共産党による公営企業の接收過程——重慶における『省・市銀行』を例として——」『中国研究論叢』第4号、pp.73-87 [査読有り]
- 林 幸司 (2005) 「日中戦後の民間銀行——重慶聚興誠銀行：1945～1949——」『一橋論叢』第134巻第2号、pp.240-258 [査読有り]
- 林 幸司 (2007) 「『解放』後の重慶における工商業団体の設立過程——重慶市工商業联合会籌備委員会を中心に——」『アジア研究』第53巻第2号、pp.19-41 [査読有り]
- 林 幸司 (2007) 「国民政府の大後方建設と地方民間銀行（1935～1945）」『現代中国』第81号、pp.65-80 [査読有り]
- 林 幸司 (2009) 「1930年代、重慶における銀行設立ブームと『銀行業界』の形成」『中国経済研究』6巻1号
- 林 幸司 (2010) 「人的移動からみた中台関係——高雄市における同郷会組織の分析を中心に」2009年度日台研究支援事業研究成果報告書、(財)交流協会日台交流センター、全15頁

・学会報告

- 林 幸司「中国共産党による重慶の『解放』と地域社会の関係について——1950年前後の公・私部門再編過程から——」(2002年度アジア政経学会全国大会、神戸大学、2002年10月、事前審査有り)
- 林 幸司「重慶における私営金融業の近代化過程——抗戦期を中心に——」(中国経済学会2004年度全国大会、桃山学院大学、2004年6月、事前審査有り)
- 林 幸司「面臨解放的民間銀行——重慶聚興誠銀行的社会主義改造」(“近500年来中国社会結構的歴史變動”国際学術検討会、中国南開大学中国社会史研究中心、中国天津市、中国語、2005年8月、事前審査有り)
- 林 幸司「戦後四川民間銀行之演變——重慶聚興誠銀行：1945—1953」(第二届近代中国思想与制度学術研討会、台湾国父紀念館国際会議庁、台湾台北市、中国語、2005年10月)
- 林 幸司「『解放』後の重慶における民間銀行の接收過程——楊家・聚興誠銀行・中国共産党——」一橋大学PH.Dワークショップ、一橋大学経済研究所、2006年4月
- 林 幸司「中国共産党の『解放』と政・財・企業関係の変容——重慶における工商業団体の設立を事例として——」(中国現代史研究会2006年度総会、KKRホテルびわこ、2007年3月)
- 松重充浩・千葉正史・林幸司「可視化される都市発展の構図：ハルビン絵葉書アーカイブの可能性

と課題」(日本大学文理学部学術フロンティア推進事業「デジタルアーカイブの構築と高度利用」中国文書等資料班公開シンポジウム「デジタルアーカイブ活用による東アジア史研究の新たな可能性」、日本大学文理学部、2008年3月)

林 幸司「1930年代、重慶における銀行設立ブームと「銀行業界」の形成」(中国経済学会 2008年度全国大会特別分科会、一橋大学、2008年6月)

林 幸司「近代中国における地方銀行の設立と展開 ——四川地方における『新式銀行』の展開と社会変容」(日本金融学会歴史部会、麗澤大学、2009年6月)

林 幸司「近代中国におけるビジネススクールの誕生と展開」(政治経済学・経済史学会 2009年度秋期学術大会、2009年10月、岡山大学、事前審査あり)

林 幸司「1920年代、上海における教会学校と高等商業教育」(第1回 G-COE リサーチ・ワークショップ、2009年11月、一橋大学経済研究所)

林 幸司「1950年代四川銀行業的改造」(中央研究院近代史研究所・冷戦時期兩岸比較研究群学術討論会、台湾中央研究院、2010年2月、中国語)

・その他

林 幸司 (2004)「書評：本野英一『伝統中国商業秩序の崩壊』」『中国経済研究』第2巻第2号、pp.34～36

林 幸司 (2005)「反映中国近代史多様性多極性的著作——試評<<重慶通史>>」孟広涵主編『<<重慶通史>>評論集』重慶市地方史研究会、pp.137～141 (中国語)

林 幸司 (2005)「書評：中村元哉『戦後中国の憲政実施と言論の自由 1945-49』」『現代中国研究』第17号、pp.66～71

林 幸司 (2006)「書評：石島紀之・久保亨編『重慶国民政府史の研究』」『歴史学研究』818号、pp.46～50

林 幸司 (2008)「書評：笹川裕史・奥村哲著『銃後の中国社会——日中戦争下の総動員と農村』」『歴史評論』800号、pp.95～100

松重充浩・千葉正史・林幸司 (2008)「日本大学文理学部情報科学研究所所蔵『ハルビン絵葉書(黒崎コレクション)デジタルアーカイブ』構築の試みについて」『近現代東北アジア地域史研究会 News letter』20号、pp.28～37

林 幸司 (2010)「書評：今井駿著『四川省と近代中国——軍閥割拠から抗日戦の大後方へ』」『歴史学研究』862号、51～54頁

・その他特記事項

(財) 霞山会派遣留学生同窓会研究助成 (2006年度)

(財) りそなアジアオセアニア財団国際交流活動助成 (2008年度)

(財) 松下国際財団研究助成 (2008年度)

(財) 交流協会日台交流センター日台研究支援事業助成 (2009年度)

・照会先

江夏由樹（一橋大学大学院経済学研究科教授）、佐藤正広（一橋大学経済研究所教授）